

## HiCEP自動反応装置の活用・普及促進のためのテーマ募集

網羅的遺伝子発現解析法: High coverage expression profiling (HiCEP)法は細胞や組織間の遺伝子発現の差を検出するための方法であり、全ての真核生物に適用可能で、低発現も含め転写産物の70-80%を解析することができ、再現性が高く、これまで実施した研究者からは高い評価を得てきました。

この度、JSTの支援のもと、この高いスペックを有するHiCEP法を、広く活用していただく目的で、HiCEP自動反応装置を研究者および企業へ開放することになりました。

この活用・普及促進の事業によって、生物学研究の推進に貢献し、また、HiCEP法についての理解を深め、広く技術を伝達したいと考えております。みなさんの応募をお待ちしております。

### 応募要領

#### 1. 応募条件

(1) 共用利用者及びその研究課題は、下記項目にご理解をいただけることが条件となります。

- ・事前に実験計画を協議していただけること。
- ・total RNAを提供していただけること。
- ・成果公開(成果の概要あるいは一部でも)への協力を行なっていただけること。
- ・HiCEP試薬費用の一部を負担していただくこと。

※当事業でHiCEPを用いる工程の費用を負担いたしますが、

HiCEPのその他の工程にかかる試薬等の負担はお願いすることになります。

(2) 応募多数の場合に優先される条件

- ・次世代シーケンシング法等に対しHiCEPの強みをアピールできるテーマを選抜する。
- ・12 well以上の反応を一度に解析することが有効な内容の提案
- ・目的の細胞が極まれに存在するような不均一な細胞集団の場合等、他の方法では解析困難で、かつHiCEP法が有効だと予測されるテーマ
- ・HiCEPデータベース(JSTソフトウェア開発にて作製した)を有効利用可能な課題

#### 2. 応募期間

平成24年度分: 2012年12月31日まで

平成25年度分第1期: 2013年5月31日まで

平成25年度分第2期: 2013年12月31日まで

平成26年度分第1期: 2014年5月31日まで

平成26年度分第2期: 2014年12月31日まで

#### 2. 応募方法

下記窓口までお問い合わせください

メッセンジャー・スケープ株式会社 HiCEP自動反応装置の活用・普及促進担当: 湯野川

TEL.03-6908-6775 FAX.03-6908-6758 e-mail:info92@mscape.co.jp